

国際機関への拠出金等に関するPDCAサイクルの在り方

とりまとめ

「国際連合開発計画(UNDP)拠出金(パートナーシップ基金)、国際連合工業開発機関(UNIDO)分担金、国際連合難民高等弁務官事務所(UNHCR)拠出金(任意拠出金)、人間の安全保障基金拠出金(任意拠出金)(外務省)」

- ・我が国の国際協力の基本的な戦略・重点分野を踏まえ、評価の基準・指標を明らかにした上で、拠出を行っている国際機関全般に対して、多面的・定量的な評価を行うとともに、その評価結果を活用し、行政事業レビュー等を通じ拠出の妥当性を論理的に説明すべきではないか。また、上記の評価の基準・指標は、二国間協力、多国間協力、国際機関経由の無償資金協力による事業に対して横串を通す形で適用することで、重複の排除等にも活用すべきではないか。
- ・特に、我が国が個別のプロジェクトにイヤマークした任意拠出金については、国際機関に対する評価に加え、プロジェクトごとの成果及びこれに対する評価の公表を通じPDCAサイクルを強化すべきではないか。
- ・国際機関のプロジェクトに対する評価に当たり、少なくともイヤマークされたプロジェクトについては、国際機関自身による評価も活用しつつ、我が国としての独自の評価を行うべきではないか。
- ・国際機関や事業の評価に必要な情報を国際機関に求め、評価の結果や評価の

行政改革推進会議「秋のレビュー」

根拠となる国際機関からの報告・情報については、公開を原則として、積極的な開示を進めるべきではないか。また、行政事業レビューシートやホームページにおいて、他国の拠出状況や国際機関の活動状況、イヤマークされたプロジェクトの具体的な実施内容等について、積極的に公開すべきではないか。

論点についての評価

「国際連合開発計画(UNDP)拠出金(パートナーシップ基金)、国際連合工業開発機関(UNIDO)分担金、国際連合難民高等弁務官事務所(UNHCR)拠出金(任意拠出金)、人間の安全保障基金拠出金(任意拠出金)(外務省)」

論点1 国民への説明責任を果たすとともに、戦略的かつ重点的な拠出を行うための適切な評価が行われているか。

①国民への説明責任を果たすとともに、戦略的かつ重点的な拠出を行うための適切な評価が行われていない。 5名

具体的な改善点(複数回答可)

㊦国際機関全般に対して、多面的・定量的な評価を進めるべき 5名

㊧行政事業レビュー等を通じ、拠出の妥当性を論理的に説明すべき 4名

㊨その他 4名

②国民への説明責任を果たすとともに、戦略的かつ重点的な拠出を行うための適切な評価が行われており、問題はない。 0名

③その他 2名

行政改革推進会議「秋のレビュー」

論点2 加えて、任意拠出金においてプロジェクトにイヤマークする場合、プロジェクトごとの成果を評価する必要があるのではないか。

①プロジェクトごとに評価する必要がある。 5名

具体的な改善点(複数回答可)

㊦我が国独自の積極的な取組として、個別プロジェクトごとの評価を実施することにより、PDC Aサイクルを確立すべき。 3名

㊧PDC Aサイクルを回す上で、個別プロジェクトの評価を国際機関にさせ、我が国においてその結果を活用して評価することも許容すべき。

3名

㊨諸外国における個別プロジェクトごとの評価を研究し、少なくとも同程度の対応を検討すべき。 4名

㊩その他 5名

②国際機関に関する評価があれば良く、プロジェクトごとに評価する必要はない。0名

③その他 1名

論点3 拠出金等の透明性確保の観点から情報公開を進めるべきではないか。

①現行の情報公開では透明性が十分確保されておらず、更なる情報公開を進めるべき。

5名

具体的な改善点(複数回答可)

㊦行政事業レビュー等を通じ、ドナーとして国際機関や事業の多面的・定量的な評価に必要な情報を国際機関に求め、情報公開を進めるべき。

5名

㊧ホームページにおいて、他国の拠出状況や国際機関の活動状況について、積極的に情報公開すべき。 4名

㊨我が国がイヤマークした個別プロジェクトについて、情報公開を進めるべき。 4名

㊩その他 5名

②現行の情報公開で透明性は十分確保されており、問題ない。 0名

③その他 0名